

決算3議案を認定否決

平成19年度決算認定

一般会計 61億8783万円

9月定例会で継続審査としていた各会計の決算を審議の結果、一般会計、かんがい施設維持管理運営費特別会計および谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計は、可否同数であったため議長裁決により認定否決、国保会計および住宅新築資金等特別会計は、賛成10・反対2で、その他の会計は全員賛成で認定しました。

平成19年度の一般会計 開かれた「決算特別委員 正に処理されていますの
決算は、平成20年11月に 会」では認定と決定され
ました。 決算の概要についてお知
元職員が らせします。



平成20年12月議会

横領した 平成19年度決算は、歳
生命保険 入では、町税の伸び悩み
の事務取 や「三位一体の改革」に
扱手数料 よる国庫補助負担金の一
等が計上 般財源化、地方交付税の
されてい 減額により全体で昨年度
ないこと より減額となっていま
などから、 す。この財源不足を補う
本会議で ため、財政調整基金など
採決の結 の取り崩しをされていま
果、認定 す。
否決とな 歳出では、町民の皆さ
りました。 んの要望に因應するため、
しかし、 行財政改革に取り組み、
他の歳入、 限られた財源の重点的な
歳出につ 配分と経費支出の効率化
いては適 に努められています。

12月定例会は、12月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。

町長より提出された一般会計補正予算をはじめ、男女共同参画推進条例の制定や国民健康保険条例の改正、9月議会で継続審査としていました各会計の決算認定など27議案を審議し、24議案を可決・認定、3議案を認定否決としました。

特に、民生費や衛生費

といった、直接町民の皆さんの生活に関係する予算については、歳出全体の約43・7%を充て、安心して生活できる町をつくるための取り組みがなされています。

※決算が認定されなかった場合
政治的、道義的責任が問われるかも知れませんが、予算執行の効力には影響しないと言われています。

反対討論

職員による公金横領は、一般会計にもかかわる部分があります。生命保険の事務取扱手数料が入っていません。

本来、収入とされるはずの金額が入っていない平成19年度一般会計歳入歳出決算は承認されがたく、認定に反対します。(香原 暹)



平成19年度で工事が終了した境川
(木月付近 左が鞍手町)

かんがい施設維持 管理運営費特別会計

出納閉鎖時点では、かんがい施設基金から1億7千90万円が横領されたとして決算を調製しましたが、うち4千万円は谷山池パイプライン水利施設基金から横領されていることが、その後の調査で判明しました。

地方自治法では、出納閉鎖後は一切の現金の移動はできないことになっていますので、平成20年度で是正します、と執行部から説明がありました。

反対討論

「出納閉鎖後は現金の移動ができず、財産運用収入の中の利子および配当の額が事実と違っているが修正できない。次年度で修正する。」と執行部から説明がありました。が、事実と違う数字を含む決算を認定することはできません。

決算認定には反対します。
(岡崎 邦博)

谷山池パイプライン 水利施設維持管理運 営費特別会計

決算調製後、横領について調査を進める中で、全額をかんがい施設基金から横領したのではなく、4千万円は谷山池パイプライン水利施設基金から横領したものと判明しました。

しかし、出納閉鎖後の現金の移動はできないため、かんがい施設基金と併せて平成20年度で是正します、と執行部から説明がありました。

反対討論

基金に属する現金は、預金、その他最も確実な方法で保管することになっていますが、町は18年、19年と基金から2億円分の仕組み債を購入し、現在元本割れしています。

大幅に元本を割り込んであるものを含む決算は、容認できるものではなく、決算認定には反対します。
(香原 暉)

その他の会計

一般会計、かんがい施設維持管理運営費特別会計及び谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計の決算は認定否決となりましたが、その他の会計の決算については次の通り認定しました。

- 国民健康保険事業特別会計
(賛成10・反対2で認定)
- 住宅新築資金等特別会計
(賛成10・反対2で認定)
- 老人保健特別会計
(賛成10・反対2で認定)
- 流域関連公共下水道事業特別会計
- 水道事業会計
- 病院事業会計
- 介護老人保健施設事業会計
(全員賛成で認定)

【会計別決算状況】

会計名		歳入(財源)	歳出(使いみち)	歳出の前年度との比較(%)
一般会計		62億7,216万円	61億8,783万円	40.9
特別会計	国民健康保険事業	20億6,917万円	21億7,309万円	112.8
	老人保健	22億5,085万円	22億5,231万円	102.4
	かんがい施設維持管理運営費	3,165万円	3,165万円	138.3
	住宅新築資金等	233万円	203万円	63.2
	流域関連公共下水道事業	8億3,306万円	8億3,210万円	105.6
	谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費	1,500万円	1,499万円	205.6
水道事業会計	収益的収支	3億7,035万円	3億4,334万円	105.8
	資本的収支	1億7,490万円	1億1,641万円	88.5
病院事業会計	収益的収支	25億1,518万円	25億4,891万円	91.6
	資本的収支	3億163万円	4億5,296万円	185.9
介護老人保健施設事業会計	収益的収支	3億678万円	3億460万円	110.1
	資本的収支	932万円	2,037万円	59.9

新しい人事

人権擁護委員の
推薦に同意

人権擁護委員 添田正博氏(古門)の任期が、平成21年3月31日で満了となるので、その後任として熊井氏を推薦することに同意しました。



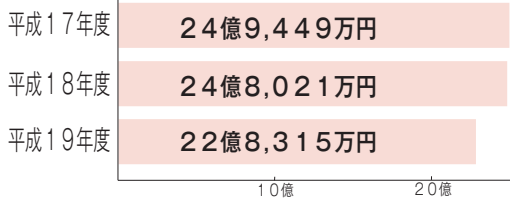
熊井 眞理子氏
(59歳)

古門757番地
1期目

9年度 会計

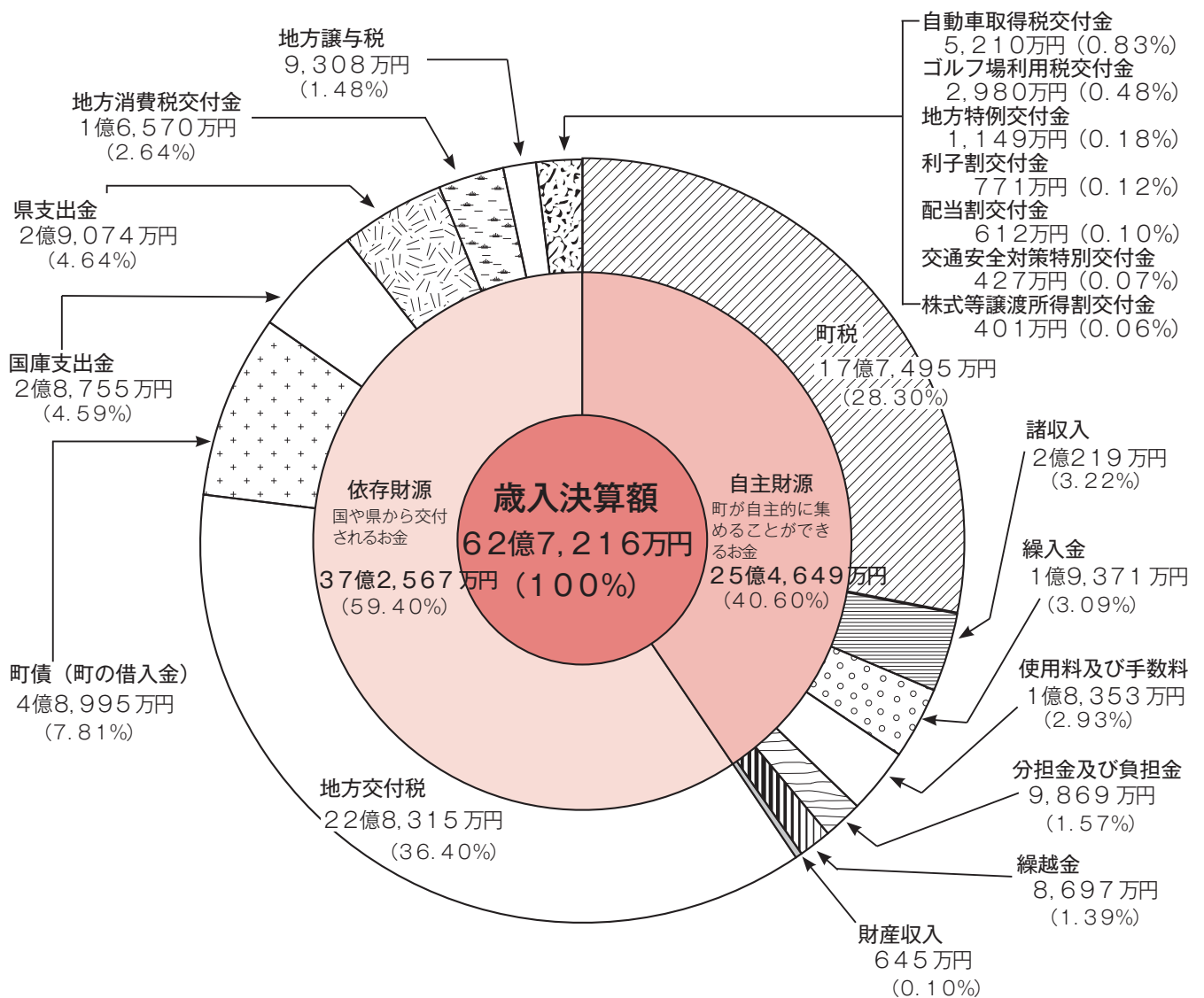
財源 (歳入)

地方交付税の推移



町税の内訳

	収入額	割合 (%)
町民税	8億1,482万円	45.9
固定資産税	8億 315万円	45.2
軽自動車税	3,527万円	2.0
町たばこ税	1億2,171万円	6.9
合計	17億7,495万円	100



国庫支出金とは

国の施策又は地方公共団体の財政上特別の必要がある場合に、国から交付される資金

○障害者自立支援給付費負担金	1億1,076万円
○特定地域開発就労事業費補助金	4,482万円
○道路橋梁費補助金	2,805万円
○国民健康保険基盤安定負担金	1,256万円
○小学校費補助金	1,064万円

県支出金とは

県から町に対して交付される資金

○国民健康保険基盤安定負担金	5,969万円
○障害者自立支援給付費負担金	5,522万円
○重度心身障害者医療費補助金	3,006万円
○同和対策事業費補助金	960万円
○河川費補助金	650万円
○農業費補助金	334万円

使いみち (歳出)

- 西川線、中山・中間線路線
バス運行負担金 1,364万円
- 商工会補助金 360万円
- 産業まつり補助金 200万円
- 信用金庫預託金 500万円

- 特開引退者新規事業開拓
奨励援護金 4,200万円

- 議員報酬 4,209万円
- 政務調査費 304万円
- 会議録速記料 283万円

- 計画転作互助方式推進事業
補助金 778万円
- 農業育成費交付金 1,100万円
- 農村女性チャレンジ支援
補助金 274万円

- 直轄広域消防負担金
2億7,331万円
- 防火水槽(1カ所) 434万円

- 古月小体育館アスベスト
除去工事費 2,970万円
- 外国青年招致事業費 486万円
- 西川小白蟻駆除費用 252万円
- 共同調理場受電設備改修工事
378万円

- インターアクセス道路負担金
1億2,500万円
- 町営住宅管理費 2,818万円
- 急傾斜地崩壊対策事業費
1,531万円
- 山田川水利組合負担金
700万円

- 介護保険広域連合負担金
2億4,436万円
- 障害者自立支援事業費
2億4,225万円
- 老人保健会計繰出金
2億1,320万円
- 児童手当費 1億1,398万円
- 重度心身障害者医療費
6,677万円
- 社会福祉協議会補助金
5,000万円

商工費 3,047万円 (0.49%)

労働費 5,610万円 (0.91%)

議会費 9,626万円 (1.56%)

農林水産業費 1億525万円
(1.70%)

消防費 3億437万円
(4.92%)

教育費

4億5,844万円
(7.41%)

土木費

6億19万円
(9.70%)

衛生費

8億2,019万円
(13.25%)

歳出決算額

61億8,783万円
(100%)

民生費

18億8,367万円
(30.44%)

公債費

(借金の返済)
9億6,720万円
(15.63%)

総務費

8億6,569万円
(13.99%)

- じん芥に関わる経費
3億2,254万円

- 町立病院繰出金
2億1,344万円

- 衛生センターに関わる経費
9,761万円

- 上水道事業繰出金 1,230万円
- 小型浄化槽補助金 837万円

- 葬斎場指定管理料 1,851万円
- 葬斎場修繕費 768万円

- 老人保健事業費 2,706万円

総合福祉センター建設等の
借入金など

- 参議院議員選挙 865万円
- 町議会議員選挙 761万円
- 県知事・県議選挙 525万円
- 交通安全施設整備費 403万円
- 固定資産(土地)鑑定評価費用
419万円

19年度決算を見る

～監査意見から～

一般会計

平成19年度決算の歳入を見ると、主な財源は町税や地方交付税、町債などで、そのうち地方交付税は歳入全体の約36%を占め、国・県への依存が大きいことを表しています。このため予算が流動的、他動的であり年度中途の変動はやむを得ませんが、補正は最小限にとどめる努力を今後も期待します。

歳出では、主な事業として急傾斜地崩壊対策事業や境川水路整備事業、古月小学校アスベスト除去事業、西原橋補強耐震工事、J R委託事業などがあげられます。

財政状況の推移

	17年度	18年度	19年度
財政力指数	0.439	0.439	0.449
経常収支比率	89.8%	95.8%	97.9%

※財政力指数：町の財政力の強弱を示す数値。一・〇に近いほど財源に余裕があることを示す。

※経常収支比率：財政の弾力性を示す数値。数値が大きいほど深刻な財政状況にあるといえる。（85%を越えると危険ゾーン）

町税滞納額 1億9千万円

自主財源の主たる町税の徴収は、文書等の催告のほか戸別訪問などの徴収努力により成果は見られますが、依然として滞納額が累積しています。常習滞納者が多くを占めていますが、会計収納

対策課を中心に、差し押さえなど適切な滞納処分を講じるとともに、現年度分が滞納繰越に繋がらないよう更なる努力を望みます。

税目別滞納額の推移	17年度	18年度	19年度
町民税	5,995万円	6,473万円	7,357万円
固定資産税	1億1,512万円	1億1,425万円	1億1,195万円
軽自動車税	525万円	587万円	639万円
合計	1億8,032万円	1億8,485万円	1億9,191万円

納入金未納額の推移	17年度	18年度	19年度
町営住宅家賃	1,181万円	1,007万円	1,042万円
保育料	462万円	420万円	72万円
国保税	1億4,808万円	1億5,375万円	1億5,180万円
住宅新築資金貸付金	2,806万円	2,869万円	2,878万円

その他の会計

国民健康保健事業特別会計は、1億392万円の赤字となっており、今後も医療費の抑制とともに、国保税の収納率の向上に期待します。

老人保健事業特別会計は、収入が前年度に比べ854万円減少し、医療諸費は4154万円増えたため146万円の赤字になっていきます。この事業は後期高齢者医療に引き継がれますが、今後も高齢者の健康管理に努められることを期待します。

かんがい施設維持管理運営費特別会計の歳入は、繰入金や諸収入の増により317万円の増加、歳出も積立金の増により876万円増加しています。今後も適切な運営が行われるよう要望します。

谷山池バイプライン水利施設維持管理運営費特別会計

別会計は、歳入、歳出とも財産収入の増に伴い770万円増加しています。今後も適切に運営されるよう要望します。

水道事業会計は、昨年に引き続き2373万円の純利益をあげ、健全な運営が図られています。今後も住民の要望である「おいしくて安全な水」を供給できるように、さらなる努力を期待します。

病院事業会計は、整形外科医の常勤医師派遣停止が大きな要因となって3824万円の純損失となっています。医師不足など厳しい経営になると思われませんが、一層の努力を要望します。

介護老人保健施設事業会計は、福祉の環境情勢が厳しい中、208万円の純利益をあげています。今後も質の高いサービスの提供などに努めるとともに、経費の節減を図るなど一層の努力を要望します。